

十勝
管内

北海道帯広養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：有

■ 学校の基本情報

- 住 所 〒080-2475 帯広市西25条南2丁目7-3
- 問 合 せ 先 T E L 0155-37-6773
F A X 0155-37-3649
E-mail obihroyougo-zO@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.obihroyougo.hokkaido-c.ed.jp>



■ 本校の概要

- 学校教育目標
「明るく、豊かに、たくましく、自ら考え、社会に生きる人を育てる」
- 目指す児童生徒の姿
- 学んだことを生活に活かせる児童生徒
 - 自分の言葉で理解、表出できる児童生徒
 - 自分で考え、やりたいと思える児童生徒



□ 概 要

本校は昭和53年に小学部、中学部が開校し、平成10年には高等部が開設された知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。近年、児童生徒の増加に加え、医療的ケアが必要な児童生徒や盲・聾学校からの入学等、障がいの多様化、重度・重複化が進んでおり、生徒の実態は多種多様になってきています。本校高等部では卒業後の自立と社会参加を目指し、知的障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえた指導を行っています。また、生徒一人一人が自分のもっている力や個性を発揮することで、日々の充実感や自分が社会にとって役立っていることを感じ取り、社会生活に積極的に関わろうとする力を養います。寄宿舎では、家庭が遠隔地の生徒と一緒に生活しており、一人一人の生活課題に応じた生活力の育成を目指して定着を図っています。

■ 特色ある教育活動

□ 高等部の教育目標

～ 地域社会の一員として充実した生活を送るために必要な力の育成を図る ～

「卒業後豊かな生活を送ることができるために、施設や地域社会で求められる力の育成」を教育方針としています。「今のこの指導は、生徒の将来にどう役立つのか」、「今のこの指導は、生徒の現在の生活をどう豊かにするのか」を考え、指導しています。

卒業後の豊かな生活は、現在の小さな「できた」の延長線上にあります。小学部(小学校)・中学部(中学校)での積み重ねをさらに深化させ、青年期における「今の充実」と「将来の充実」に努めています。

【 現場実習 】

現場実習は、社会資源を活用した体験活動であり、社会生活につながる効果的な学習です。

6月に1週間、9月に2週間(就職希望者は4～6週間)の年間計3週間の計画をしています。

また、入学時から卒業後の生活・進路への具体的な見通しをもてるよう、進路学習と結び付けて施設見学を実施しています。



高等部祭



現場実習：清掃



ALT交流



生徒会活動



現場実習：陶芸



作業学習

■ 第1学年の週時程表

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	自立活動				
3	作業学習 / 自立活動	作業学習	国語/ 自立活動	音楽	生活単元 学習
4			数学/ 自立活動	美術	
5	生活単元 学習	体育	日常生活 の指導	総合的な 探究の 時間	LHR (生徒会 活動)
6					日常生活 の指導
7	日常生活 の指導	日常生活 の指導		日常生活 の指導	

* 登校時間

8 : 45 (月・火・水・木・金)

* 下校時間

14 : 45 (月・火・木)

13 : 15 (水)

13 : 55 (金)

■ 教育課程の特徴

作業学習や生活単元学習、日常生活の指導を中心に据え、国語や数学などの教科の学習、総合的な探究の時間、自立活動等を適切に配置し、教育課程を編成しています。卒業後の家庭生活、社会生活、職業生活に結びつく知識・技能や自ら考え表現する力、新しいことにも意欲的に取り組む力を付けるべく教育活動を展開しています。

また、国語、数学、作業学習、自立活動を選択できるようにすることにより、生徒一人一人の教育的ニーズに応じた授業を行っています。

各学習の指導体制については、学年を中心に検討し、生徒の実態、単元、題材等を考慮しながら必要に応じて学年の枠を越えたグループ編制を行うなど柔軟に設定しています。

□ 作業学習

作業活動を中心に据えて、働く意欲を培い、将来の社会生活や職業生活、自立に必要な知識や技能、態度及び習慣などを身に付ける学習を行います。第2、3学年は、終日作業学習を行う曜日を設定しています。

※ 授業時数：第1学年 週2又は4時間

第2、3学年 週2、4、6時間

※ 現場実習（1期：1週間、2期：2週間）

□ 自立活動の指導

自立活動では、生徒それぞれの学習上や生活上の課題について、得意なことや好きなことを生かしながら解決を図っていく学習を行っています。本校では、生徒の実態に応じて自立活動の時間を柔軟に設定することができ、卒業後の自立した社会生活を見据えながら、生徒それぞれにとって必要な力を見定めながら、指導を展開しています。

□ 生徒会活動

より良い学校生活を主体的に築こうとする自治的能力を育成し、責任感をもたせることを目指しています。地域の大人や社会との関わりを深める社会貢献活動を月に1時間程度設定しています。

■ 卒業後の主な進路先について（令和4年度実績）

□ 福祉的就労（移行支援／就労継続B型／生活介護／自立訓練）～19名

学校のWebページ

